



おおいたの 地域を担う ひとつづくり



平成29年12月発行

「OJIC(オーシック)」とは O:大分県 J:自治人材 I:育成 C:センター の通称です。

地域づくり交流塾

受講者：県職員17名、市町村職員24名

実施日：第1回 9月20日(水)～22日(金) 第2回 11月21日(火)～22日(水)

講師：第1回 國學院大學法学部准教授 稲垣 浩 氏、NPOグリーンバレー代表 大南 信也 氏 他
第2回 (株)大隅家守舎 川畠 康文 氏、(株)油津応援団 木藤 亮太 氏 他

地方創生を担う意欲を持ち、地域や組織をリードする職員の育成と人的ネットワークの構築を目指し、今年度より大幅に内容の充実を図った「地域づくり交流塾」が9月からスタートしました。

全3回の講師陣も、大学教授や民間の専門講師に加え、県外で活躍する地域づくり実践者や自治体職員など、総勢10名となり、様々な事例を学び意見を交わすことができています。

第1回は、別府市の豊泉荘において合宿形式で行われました。地方創生時代における仕事のあり方、



ファシリテーション、県内外の地域づくり事例を学ぶほか、模擬自治体運営として「SIMおおいた」のグループワークも行いました。

第2回は、初の県外視察研修でした。1日目は鹿児島県鹿屋市において北田商店街の取組や市役所職員による自主活動について、2日目は油津商店街の取組について多くを学びました。講義や視察のほかにも関係者との意見交換も行い、更なる交流を深めたところです。

第3回は、1月18日(木)～19日(金)に開催し、実際に政策に反映するアウトプットの手法を学ぶ予定です。



受講者の声



- 自分から行動しないと周りは動かない。地域を活性化させるには、住民、職場の同僚や上司など多くの人を巻き込み、色々な意見を引き出すことが必要と感じた。
- 地域に飛び出して多様性を実感し、その多様性を自分の考えに柔軟に取り込んでいくことの大切さを感じた。さらに、横のネットワーク、県内他団体職員との繋がりを増やすことができた。

自主活動グループ研究等活動支援事業

今年度から始まった当支援事業を活用し、研究・研修活動に取り組んでいる自主活動グループを紹介します。

- 県職員経営戦略学習会** (県職員とJA職員で構成されたグループ)
活動内容 業務遂行に必要な経営戦略論や組織論の習得
- 26カレッジ** (県職員と大分市、別府市、竹田市、国東市、姫島村、玖珠町職員で構成されたグループ)
活動内容 自治体間連携のあり方及び今後の展望の研究
- おおいたおんせんカフェNEXT** (大分市、別府市、由布市職員で構成されたグループ)
活動内容 ワークショップや対話を通じた、政策立案や事業実施のノウハウの習得
- なかつCafe 商品企画部** (中津市職員で構成されたグループ)
活動内容 特産物を使った商品の試作、地域イベントへの参加や誘致等を通じた地域づくりのノウハウの習得
- 災害時における自治体間ネットワーク研究会** (宇佐市職員で構成されたグループ)
活動内容 自治体間(職員)交流が、大規模災害発生時の支援体制にもたらす効果や影響等の調査、研究

お知らせ

NEW

「創生人材」交流・学習会の開催

下記の日程で、今年度新規研修となる「創生人材」交流・学習会を行います。自主活動を行っている方や自主活動に興味のある方はふるってご参加ください。

日程：平成30年2月16日(金)
9:15～16:40 (意見交換会18:30～)

対象者：受講を希望する県・市町村職員 100名

会場：大分県自治人材育成センター

内容：県内の自治体職員自主活動グループの紹介、交流・情報交換会、「地域に飛び出す公務員」として様々なオフサイト活動やまちづくりに積極的に取り組んでいる山形市職員 後藤好邦氏による講演等を行います。

県職員研修

新採用職員(農業等現場体験)研修

受講者：平成29年度新採用職員 155名
実施日：7月～10月(各所半日から1日間)

新採用職員を対象に、各振興局単位で11カ所に分かれて、ピーマン、カボス、いちご等の農作物の収穫や片付け作業、漁協でのヒオウギ貝の付着物除去作業、野津町や無垢島での小規模集落応援隊の活動等を行いました。



暑い時期での慣れない作業で、疲労は大きかったと思いますが、久しぶりの同期との交流に自然と笑みがこぼれ、作業を終えた後は、皆、達成感に満ちた表情になっていました。

特に、受入れ農家等の方々から様々な話を伺うことで、現場の実情を理解するとともに、県職員として県民の思いや現場の声をしっかりと受け止めることの大切さを感じてくれたことと思います。

受講者の声



- 業務上、普段現場に出向く機会がほとんどないため、今回の研修は現場を理解する上で大変有意義なものだった。
- 県を支えている産業の実態をほとんど知らなかったことに気づかされ、身が引き締まる思いがした。

採用2年目職員研修「政策形成基礎講座Ⅱ」

受講者：採用後2年目の職員等 198名
実施日：9月～11月(3組実施、各2日間)

講師：一般社団法人日本経営協会 専任講師 西野 毅朗 氏

この研修は、豊泉荘において行われた2日間の合宿研修のうち、初日と、2日目の午前までの1日半、「ロジカルシンキング」による業務改善、問題解決、コミュニケーションの手法などについて、演習や討議を中心に進められました。

西野講師は、受講者の世代と近い年齢で、事例も身近で分かりやすく、グループワークで盛り上がるなど、とても活気あふれる研修となりました。



また、懇親会の時間は、新採用職員研修以来となる合宿研修ということもあり、久しぶりに再会する同期の仲間と楽しく過ごすことができたようです。

受講者の声



- 「ロジカルシンキング」を実践する演習が多く、学んだことが身につけやすく、すぐに業務に活用できる研修だった。
- 自分も固定観念を持っていることに気づいたので、これからは柔軟な発想で業務改善や問題解決に取り組みたいと思った。

市町村職員研修

NEW 女性キャリアデザイン研修

受講者：概ね採用3年目の女性職員 29名
実施日：11月22日(水)

講師：株式会社Woman's 代表取締役 宮崎 結花 氏

この研修は、女性職員を対象とした新規研修で、自らも、就職、出産、子育て、起業を経験したキャリアコンサルタントの講師により1日研修が行われました。



事前アンケートによる受講生の悩みや不安などに、講師が一つひとつ丁寧に答えていたのをはじめ、ロールモデルの必要性やキャリアデザインのプロセスなどについて話がありました。

グループワークも行い、同世代の他市町村の職員と熱心に意見を交わし、ランチ交流会も盛り上がっていました。

受講生の皆さんには、今後、キャリアを一步步積み重ね、自分らしい素敵なロールモデルになっていただきたいと思います。

受講者の声



- 女性キャリアデザインについて、受講前は漠然としたイメージしか持っていなかったが、講師の方のお話やグループの方々とのグループワークを通し、自分の目指す未来像、またそのために必要な行動等が具体的に見えてきたので、とても有意義な研修だった。

民間派遣研修

受講者：6名
実施日：10月5日(木)～8日(日)(4日間)
派遣先：株式会社トキハ 本店



この研修では、民間企業において接客を中心に、4日間の業務体験を行いました。

1日目の午前中は、人事担当者からトキハの企業理念やサービスについて学んだ後、挨拶やお辞儀などの基本動作や、金銭授受の仕方などのトレーニングを行いました。

午後からは、実際に各売り場に分かれ販売実習を行いました。最初はお客様への対応にもぎこちなさを感じられましたが、各売り場担当者の丁寧な指導により、研修最終日には積極的に適切な接客を行っていました。

この研修で学んだ民間の効率的な業務運営や顧客の接し方、チームワークの大切さなどを、今後の業務に活かしていくものと期待します。



受講者の声



- 接客は笑顔だけでなく、立ち振る舞いや話し方、語尾の丁寧さなどにも気をつけることが重要であることを実感した。
- 制度やサービスを提供する際にまず必要なのは、自分自身が適切に知識を習得することであると実感した。今後も公務員として日々勉強していきたい。

NEW

政策形成能力向上研修Ⅰ ～政策形成の基礎を学ぶ～

受講者：県職員 29名、市町村職員 6名

実施日：8月31日(木)～9月1日(金)

講師：一般社団法人日本経営協会 専任講師 細川 甚孝 氏

今年度新規研修として、若手職員を対象に、政策形成能力向上研修Ⅰを実施しました。

講師は、自治体の総合計画や行政改革等のコンサルティングに関わるほか、大学や自治体等で研修を多数行っており、様々な自治体の政策事例を織り交ぜながら、政策形成のプロセスを順を追って解説するとともに、演習やグループワークも多く行われ、とても内容の濃い研修となりました。

写真はチームビルディングとして行われた「マシュマロチャレンジ」の様子で、パスタで自立タワーをたて、それに乗せたマシュマロの高さを競うもので大いに盛り上がりました。



受講者の声



- 政策の作り方が理解できた。課題の解決方法やグループワークの方法など、非常に参考になるものばかりだった。
- 政策、事業を一から組み立てていく手法を学ぶことができた。

NEW

リーダーシップ力向上研修 ～意思決定の重要性と必要性を学ぶ～

受講者：県職員 20名、市町村職員 7名

実施日：9月8日(金)

講師：株式会社行政マネジメント研究所

専任講師 池田 玲子 氏

今年度、新たな研修として、課長補佐級職員を対象にリーダーシップ力向上研修を実施しました。

講師は大手メーカーのマネジメントに携わった後、長年コンサルタントや研修講師の実績を積んでおり、この研修では、リーダーの行う意思決定のプロセスや、職場マネジメントにおける意思決定などについて、多くのグループ演習を行いながら、手法や考え方を習得していきました。

午前の活発な討議を終えた後のランチ交流会では、和やかな雰囲気会で話が弾んだようで、午後のグループワークも熱心に行われていました。



受講者の声



- 非常に内容が濃く、あっという間に研修が終了した。
- 講師は行政の実情を理解しており、明日からの業務に活かせるような助言を多くもらえた。

問題発見・解決能力向上研修

～SI法(構造的洞察法)を、企業とともに学ぶ～

受講者：県職員 11名、市町村職員 12名、企業の社員 9名

実施日：7月27日(木)～28日(金)

講師：株式会社自己啓発協会 代表取締役 川上 史明 氏

この研修は、県内企業の方にも受講者として参加していただく唯一の研修で、県と市町村職員、企業の社員でグループを作り、様々な視点から問題発見やその解決法を導き出す研修が行われました。

SI法という定型的な問題解決の手法を使ってケーススタディを行うほか、実際に受講者が職場で直面している問題を持寄り、原因分析を行い、様々な検討が行われました。



講師も熱心かつ丁寧に説明やアドバイスを行い、グループワークでは、民間の視点の意見もあり、積極的に議論が進んでいました。受講者にとっては新たな刺激と発見が生まれる機会になったことと思います。

受講者の声



- 現在直面している問題とじっくり向き合う時間がとれたので良かった。
- 幅広い業種の方と、普段なかなかできないようなテーマで討論を行うことができ、非常に有意義な研修だった。

自治体政策のつくり方研修

～住民の意見の体系化(KIT-PT法)～

受講者：県職員 18名、市町村職員 8名

実施日：11月1日(水)～2日(木)

講師：有限会社あしコミュニティ研究所

代表取締役 浦野 秀一 氏

この研修は、元川口市職員で全国各地のまちづくりに関わってきた経験豊富な講師により、住民の意見をいかに政策に反映させるかなど、政策形成を図る演習中心で行われました。

講師が考案した「KIT-PT法」は、カードを用いて様々な意見を積み上げ、樹木のように図解化し、文章を作り上げるもので、グループワークでは、多くの意見の中から、具体的に政策にどう活かしていくかなど活発に議論が進んでいました。

各グループの発表や講師のコメントの中に、まちづくりのヒントが含まれるなど、とても有意義な研修となったようです。



受講者の声



- 説明が講師の実体験に基づいたものであり、大変わかりやすかった。グループワークでは、様々な立場の人が言う意見をいかにまとめ、政策に反映させていくかをグループで考えるよい経験となった。

トップマネジメント研修

受講者：県の部長、次長級職員、所属長 250名

実施日：9月22日(金)

講師：国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長 中鉢 良治 氏



中鉢理事長は、ソニー(株)の要職を歴任され、社長、副会長に就いた後、公的研究機関の当該研究所の理事長としてご活躍されており、今回、「科学技術と地方創生」と題してご講演いただきました。

産業革命の時代から紐解き、科学技術の発展と、産業の限界、そして持続可能な開発について見解を述べられたほか、外から見た大分県の産業について

のアドバイスや、地方創生に向けての今後の方向性など、ご自身のエピソードも添えながら情熱的にお話しいただきました。

受講者も真剣に聞き入っており、講演後は、受講者からの質問に対し、理事長が予定時間をオーバーして丁寧に答えくださいました。

幹部セミナー

受講者：市町村の幹部職員 52名

実施日：11月10日(金)

講師：国際協力・ジェンダー専門家 大崎 麻子 氏



講師の大崎氏は、国連開発計画ニューヨーク本部に勤務の後、日本で開発政策や女性活躍推進など各界、各分野でご活躍されており、今回、「今、なぜ、女性活躍推進？ 国際潮流と日本国内の動き」と題してご講演いただきました。

途上国の女性支援、ジェンダー平等の推進や、国連会議に多数出席した経験をもとに、世界、日本、地方に

おける女性活躍の現状、課題、解決に向けた政策提案など、熱く語る姿がとても印象的でした。

受講者からは、「かなり高度な話が聞けた。」「時間が足りない、もっとじっくり聴きたかった。」「男女共同参画の世界の状況が理解できた。」などの感想が寄せられました。

地域政策スクール ～地域が真に求める政策を研究する～

受講者：県職員10名、市町村職員5名

実施日：平成29年6月20日(火)～平成30年2月(月2～4回)

専任講師：九州大学大学院法学研究院准教授 嶋田 暁文 氏

地域政策スクールも、嶋田准教授を専任講師に迎え、今年で14年目となります。6～8月には、嶋田准教授による政策形成に係る講義や、プレゼンテーションなどのスキルアップ研修がありました。7月初旬には、安心院での農泊研修も行われ、その後、下記のようにグループ分けを行い、政策研究が始まりました。

10月17日(火)には、当センターにおいて中間まとめ発表会を開催しました。班ごとに、研修前半の研究成果について、テーマ関係課や本スクールOBの方々から多くの意見をもらっていました。

その後も、資料収集から現状分析、課題分析などをさらに進め、県内外の関係各所の現地調査を行うなど、1月の発表会や報告書作成に向けて、班ごとに熱心に取り組んでいます。



移住定住班

◎ 班長 ○ 副班長

テーマ：移住定住の促進

大分県豊肥振興局	後藤 友里奈
大分県漁業管理課	朝久野 光
大分県議会事務局	佐藤 佳香
○大分県立高田高等学校	埋田 卓
◎日田市総務課	安養寺 智也

海外戦略班

◎ 班長 ○ 副班長

テーマ：海外戦略の推進

大分県北部振興局	岩田 菜美
大分県別府土木事務所	奥園 悠貴
◎大分県立歴史博物館	富松 大貴
○大分市環境対策課	山本 草平
別府市温泉課	岡田 菜穂

防災班

◎ 班長 ○ 副班長

テーマ：災害に強い人づくり、地域づくり

大分県中津県税事務所	村上 周優
大分県消費生活・男女共同参画プラザ	戸高 諒子
○大分県教育人事課	麻生 潤弥
佐伯市総務課	上杉 健太
◎竹田市保険健康課	牛尾 公一

お知らせ

研究成果
発表会の
開催

下記の日程で地域政策スクールの研究成果発表会を行います。

どなたでもご参加いただけますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日程：平成30年1月16日(火) 13:00～16:20

場所：大分県庁舎本館2階正庁ホール

編集後記

12月になって気温が低い日が続く中、当センターも研修には暖房が欠かせなくなっています。研修室の空調は事務局でも管理を行っていますが、座席位置によっては温度調節が難しい場合もありますので、ご自身でも調整ができるような服装で研修にご参加ください。

今年度の研修プログラムも2月ですべて終わるので、現在、来年度の研修プログラムの組み立てを行っているところです。来年度も皆さんのスキルアップに役立てる研修を提供していきたいと思いますので、引き続きOJICをよろしくお願いいたします。(事務局)